

2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年7月31日

上場会社名 日本デコラックス株式会社
コード番号 7950 URL <https://www.decoluxe.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 重夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 直也
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
TEL 0587-93-2411

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,573	5.3	199	50.7	259	64.4	233	114.3
2026年3月期第1四半期	1,494	0.7	132	24.1	157	18.9	109	18.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	299.66	—
2026年3月期第1四半期	139.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	19,075	16,683	87.5
2026年3月期	18,724	16,339	87.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 16,683百万円 2026年3月期 16,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	150.00	—	220.00	370.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		150.00	—	220.00	370.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2027年 3月期の業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	3,200	5.8	300	1.2	360	2.0	300	22.8	384.80
通期	6,400	2.5	600	8.0	730	4.7	1,630	217.8	2,090.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	893,000 株	2026年3月期	893,000 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	113,372 株	2026年3月期	113,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	779,628 株	2026年3月期1Q	779,628 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価動向や米国の通商政策の動向に加え、中東情勢の緊迫化など地政学的リスクの高まりに伴うエネルギー価格の上昇や金融資本市場への影響が懸念されることから、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、以下の通りとなりました。

<建築材料事業セグメント>

高圧メラミン化粧板は、オフィス市場向けの需要が堅調に推移したものの、トイレ市場及び店舗市場では、原材料価格の高騰や人件費上昇等を背景とした工事費の上昇により物件数が減少したことから、売上が減少しました。

不燃メラミン化粧板は、新築住宅の着工件数の増加や、中東情勢の影響を背景とした材料確保に向けた前倒し発注が一部で見られたことから、売上が増加しました。

その結果、化粧板製品の売上高は998百万円（前年同四半期比100.7%）となりました。

電子部品業界向け製品は、パソコン向け需要が回復基調で推移したことに加え、自動車部品の調達遅延の解消により車載関連需要が一部回復したこと、さらにA I 関連及び通信機器関連の需要が増加したことから、売上が増加しました。

その結果、電子部品業界向け製品の売上高は248百万円（前年同四半期比122.9%）となりました。

ケミカルアンカー製品は、建設コスト上昇に伴う物件数の減少等、市況が不安定な状況であるものの、価格改定前の駆け込み需要に加え、中東情勢の影響を背景とした材料確保に向けた前倒し発注が一部で見られたことから、売上が増加しました。

その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は211百万円（前年同四半期比114.7%）となりました。

これらの結果、その他の売上高も合わせて、建築材料事業セグメントの売上高は1,471百万円（前年同四半期比105.6%）となりました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業は、堅調に推移し売上は増加しました。

その結果、不動産事業セグメントの売上高は101百万円（前年同四半期比100.6%）となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は1,573百万円（前年同四半期比105.3%）、営業利益は199百万円（前年同四半期比150.7%）、経常利益は259百万円（前年同四半期比164.4%）、当社が保有する不動産の一部収用に係る受取補償金を計上したことにより、四半期純利益は233百万円（前年同四半期比214.3%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて351百万円増加の19,075百万円となりました。これは主に、電子記録債権及び有価証券が減少したものの、現金及び預金、その他の流動資産及び投資有価証券が増加したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて7百万円増加の2,392百万円となりました。これは主に、その他の流動負債が減少したものの、繰延税金負債が増加したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて343百万円増加の16,683百万円となりました。これは、期末配当金を171百万円支払ったものの、四半期純利益を233百万円計上したこと及びその他有価証券評価差額金が281百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第3四半期において、当社所有の固定資産の譲渡に伴う固定資産売却益約1,607百万円を特別利益として計上する見込みとなったことから、本日公表の「固定資産の譲渡及び取得並びに業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2026年5月8日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

2027年3月期通期 業績予想数値の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,400	百万円 600	百万円 730	百万円 530
今回修正予想 (B)	6,400	600	730	1,630
増減額 (B-A)	—	—	—	1,100
増減率 (%)	—	—	—	207.5
前期通期実績 (2026年3月期通期)	6,241	652	766	512

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,835,052	2,998,971
受取手形及び売掛金	757,061	797,121
電子記録債権	899,882	745,281
有価証券	656,365	408,006
商品及び製品	362,516	414,700
仕掛品	78,309	96,571
原材料及び貯蔵品	475,279	465,704
その他	128,080	236,893
流動資産合計	6,192,547	6,163,250
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,232,121	2,224,246
土地	5,099,587	5,085,270
その他（純額）	606,670	579,846
有形固定資産合計	7,938,378	7,889,362
無形固定資産	24,305	21,264
投資その他の資産		
投資有価証券	4,251,938	4,667,766
その他	317,583	334,321
投資その他の資産合計	4,569,521	5,002,088
固定資産合計	12,532,205	12,912,715
資産合計	18,724,753	19,075,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	264,880	289,326
電子記録債務	585,883	561,901
未払法人税等	145,080	112,797
未払消費税等	33,556	51,932
引当金	61,897	43,797
その他	365,404	252,213
流動負債合計	1,456,701	1,311,970
固定負債		
役員退職慰労引当金	413,474	417,031
繰延税金負債	305,408	434,891
その他	209,583	228,809
固定負債合計	928,466	1,080,733
負債合計	2,385,168	2,392,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	11,339,907	11,402,011
自己株式	△582,819	△582,819
株主資本合計	15,578,004	15,640,108
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	761,580	1,043,154
評価・換算差額等合計	761,580	1,043,154
純資産合計	16,339,585	16,683,262
負債純資産合計	18,724,753	19,075,965

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,494,345	1,573,362
売上原価	1,030,394	1,043,216
売上総利益	463,950	530,145
販売費及び一般管理費	331,576	330,706
営業利益	132,374	199,439
営業外収益		
受取利息	12,187	13,108
受取配当金	17,327	33,932
為替差益	—	10,436
その他	1,612	2,144
営業外収益合計	31,127	59,621
営業外費用		
為替差損	5,936	—
営業外費用合計	5,936	—
経常利益	157,565	259,060
特別利益		
受取補償金	—	85,201
特別利益合計	—	85,201
特別損失		
固定資産除却損	—	3,208
特別損失合計	—	3,208
税引前四半期純利益	157,565	341,054
法人税等	48,530	107,432
四半期純利益	109,035	233,622

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	建築材料事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
化粧板製品	992,424	—	992,424	—	992,424
電子部品業界向け製品	202,245	—	202,245	—	202,245
ケミカルアンカー製品	184,821	—	184,821	—	184,821
その他	14,073	—	14,073	—	14,073
顧客との契約から生じる 収益	1,393,565	—	1,393,565	—	1,393,565
その他の収益	—	100,779	100,779	—	100,779
外部顧客への売上高	1,393,565	100,779	1,494,345	—	1,494,345
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,393,565	100,779	1,494,345	—	1,494,345
セグメント利益	180,848	50,292	231,141	△98,767	132,374

(注) 1. セグメント利益の調整額△98,767千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	建築材料事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
化粧板製品	998,915	—	998,915	—	998,915
電子部品業界向け製品	248,544	—	248,544	—	248,544
ケミカルアンカー製品	211,904	—	211,904	—	211,904
その他	12,618	—	12,618	—	12,618
顧客との契約から生じる 収益	1,471,982	—	1,471,982	—	1,471,982
その他の収益	—	101,379	101,379	—	101,379
外部顧客への売上高	1,471,982	101,379	1,573,362	—	1,573,362
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,471,982	101,379	1,573,362	—	1,573,362
セグメント利益	239,401	60,100	299,501	△100,062	199,439

(注) 1. セグメント利益の調整額△100,062千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	62,703千円	58,676千円